

【第40号】

かけはし

若松地域づくり協議会

2年ぶり「ふれあいフェスタ若松」開催 つながる絆・つなげる伝統文化



＝原田吉次会長の挨拶＝

子どもや高齢者の参画、若松の伝統文化を伝える「第12回ふれあいフェスタ若松」が、22、23日の両日、若松公民館と若松小学校体育館で、感染防止策を講じながら開催され、多くの住民が2年ぶりのフェスタを楽しんだ。

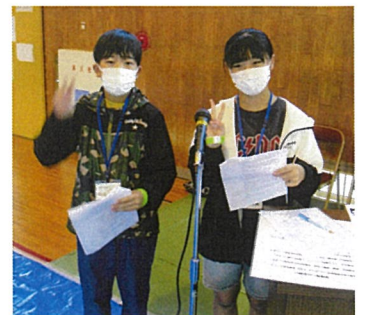
サークル発表会は、若松公民館を会場として22、23日の両日開催された。日頃の学習成果を舞台発表（10サークル）、作品展示発表（6サークル）を通じて披露された。

二日間、多くの人々が足を運び舞台、展示作品に見入っていた。

一方のイベントは23日、若松小学校体育館とその周辺を会場にして開催された。この日のために、学び・練習を重ねた千代崎中学校吹奏楽部の演奏、若松小学校3年生のゆうぎの演技、5年生の光太夫太鼓の演奏、地元の仲間で結成されたアクティダンスユニットDクルーのダンス演技、江戸時代から引き継がれている若松の伝統文化、濱田獅子舞と瀬戸内獅子舞が披露された。

また、屋外では体操服のリサイクルバザー、めだか、新鮮な野菜が販売されたほか、子どもたちが火起こし・プラ板・くみひもの体験を楽しんだ。フェスタのフィナーレは、折りたたみ自転車、防災グッズ等が当たる抽選会が行われ、該当番号が発表されると歓声が上がっていた。

サークル発表会、イベント関連行事のオープニング挨拶で、原田吉次地域づくり協議会会長より「子どもたちの演奏、演技や伝統文化の披露、サークル成果発表を通じて、住民間の絆が培われ、若松の魅力再発見につながる催しにしたい」と開催の狙いが熱く語られた。



内山さん、三村さん
立派に役割を果たしました

若松小の児童が大活躍：イベントの総合司会（内山歩・三村希実）受付（永戸康喜・杉浦杏莉那）
子供コーナ（松山航・刀根涼輔・濱野有芽・堺星斗）、それぞれの持ち場で協力をいただきました。
敬称略

“老いも若きも”心ひとつに 盛り上がった会場!! イベントの紹介

二年ぶりに開催でき、盛り上がったふれあいフェスタ若松になりました。これもひとえに老若男女の多くの出演者、ボランティアスタッフ、傘下組織、当会役員の皆さまの支援、協力があったからこそ実施できました。紙面をお借りして、関係者の皆さまにお礼申し上げます。有難うございました。



千代崎中学校吹奏楽部の演奏
息がぴったり合った演奏に釘付けになる



若松小学校3年生のゆうぎ
アンコールが3回も沸き起こる熱演ぶり



若松小学校5年生の光太夫太鼓演奏
心に響く名演奏に児童と観客の心が一つにつながる



アクティードダンスユニットRクルー
熱気がみなぎる!躍動する子どもたちの演技



櫛宜垣内の獅子舞



濱田の獅子舞

江戸時代中頃から継承されている若松の伝統文化;櫛宜垣内獅子舞(左)濱田獅子舞(右)